

島中だより

教育目標
学ぶ意欲にとみ
心豊かで たくましい生徒

八戸市立島守中学校

TEL 83-2011

文責 校長 竹花 和人

自分との戦いこそが明暗を分ける ～王貞治の生き方に学ぶ～

校長 竹花 和人

※6月2日(火) 全校朝会での講話より

3年生にとっては最後の大会となる、八戸市中学校体育大会夏季大会があと3週間ほどでやってきます。1年生はこの夏季大会の総合開会式を見たことがありますか。小学校のスポーツ少年団の開会式とは違って、市内の中学生全員が東運動公園陸上競技場に集まって行われますので、その雰囲気圧倒されると思います。初めての人は楽しみにしてください。

さて、今日は868号のホームランを打った日本を代表するプロ野球選手である「王貞治さん」の「敵と戦う時間は短い。自分との戦いこそが明暗を分ける。」という言葉を紹介します。

王選手は、早稲田実業学校卒業後、ピッチャーとして巨人軍に入団しましたが、ピッチャーとしては大成しないと言われ、バッターに転向します。しかし、3年ほどはなかなか結果が出せなかったころ、荒川博さんがコーチに就任し、マンツーマンで指導を受けることとなります。その時に試したバッティングフォームの一つが「一本足打法」でした。初めのうちはあまり結果につながらなかったものの、7月に入ったころからホームランを打てるようになり、王選手自身も結果が出てきたことで、一本足打法に本気で取り組む気持ちになり、練習に打ち込むようになりました。この時の練習の過酷さ、練習量を表すエピソードとして「練習に使った部屋の畳が擦れて減り、ささくれ立った」「練習の翌朝、顔を洗おうと、腕を動かそうとしたが動かなかった」という話があるそうです。また、剣道家に弟子入りして居合を習うとともに、日本刀による素振りの指導を受けたそうです。日本刀による素振りとは、「天井から吊り下げた糸の先に付けた紙を、日本刀で切る」という練習などです。これは、技術として日本刀で紙を切るほど打撃を研ぎ澄ませる、という以上に、打席内での集中力を高めることで余計なことを考えないでいいように、という精神鍛錬の目的もあったそうです。

このように、王選手は、プロ野球選手として最初から成功したわけではありませんでした。しかし、荒川コーチとの出会いをきっかけに、限界をつくらず「自分との戦い」から逃げることなく努力し続けたことで、世界中の野球関係者から尊敬されるような選手となったのです。

今日は、「自分との戦い」という話をしました。これから最後の戦いに向かう3年生のみなさんは、ぜひ自分の弱い気持ちや未熟な技術を克服するために戦い続けてほしいと思います。

「敵と戦う時間は短い 自分との戦いこそが明暗を分ける」

伝統行事「虚空蔵山清掃」

6月3日（水）に「虚空蔵山清掃」を実施しました。これは、島守中学校が開校以来続けてきている伝統行事だそうで、今年で68回目となります。

当日は、学校から徒歩で移動しました。龍興山神社の小沢さんのお話のあと、さっそく清掃を始めました。各学年の分担場所を全員が一生懸命に清掃し、見る見るうちにきれいになっていきました。特に3年生男子は、ペットボトルに入っている水を頂上まで運んでから裏参道の石段清掃をしましたが、部活動で鍛えているせいか、疲れた表情を見せずに笑顔で働いていました。その姿は30周年記念誌などに掲載されている写真の先輩たちの姿のまったく同じであり、よき伝統が受け継がれていることが感じられました。

この虚空蔵山清掃を通して、生徒たちが「ふるさと島守」の良さについて改めて考えるとともに、「ふるさと島守」のために積極的に働きたいという気持ちをもつことを願っています。



八戸市青少年海外派遣が行われました

八戸市青少年海外派遣事業によるアメリカ合衆国での研修が、5月28日（木）より9日間にわたって行われました。本校からは2年生の高畑梨那さんが代表として参加しました。アメリカではホームステイをしたそうで、ホストファミリーの方と交流しながら多くのことを学び体験してきたようです。

7月10日の生徒朝会での報告が楽しみです。



ふるさとへの誇りと愛着を ～すまもり村田植えまつり・島守はるまつり～

5月31日（日）に、島守地区にある「中世の田んぼ」にて「第2回すまもり村田植えまつり」が行われました。この「中世の田んぼ」は、平成24年の調査により鎌倉時代（約700年前）の水田跡であることが確認されたものです。このような歴史を生かしたまちづくりや活性化を目指して実施されたのがこの田植えまつりだそうです。個人的に田植えを見学に行ったところ、幼児や小学生とその保護者の参加が多く、中学生は一人だけのような感じでした。

また、6月6日（土）と7日（日）には、龍興山神社の例大祭と島守春まつりが行われました。6日の夜はPTAの巡回指導に参加し、7日の午前中は個人的に見学に行きましたが、とても多くの人たちが集まっており、中学生の姿もたくさん見かけました。また、虎舞に参加している生徒もいたようです。

現在の日本では大都市に人口が集中し、それ以外の地域では人口減少が進んでいます。だからこそ、自分が住んでいる地域の伝統行事やイベントなどに中学生が積極的にかかわっていくことが大切だと思います。部活動などで忙しいとは思いますが、これらの行事・イベントに積極的に参加し、豊かな自然に恵まれ、歴史と伝統のある「ふるさと島守」への誇りや愛着を感じてほしいと思います。